

うぐいす

「すべての人びとに安らぎと希望を」



第43号
8月 2011年

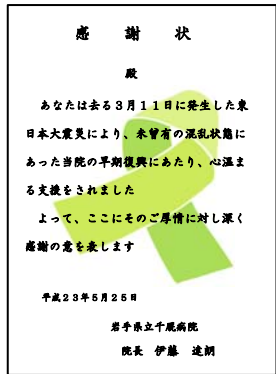
編集発行 県立千厩病院
広報委員会

TEL 0191-53-2101

東日本大震災後のご支援に対して感謝状を贈呈いたしました

去る3月11日の東日本大震災後に、当院においても物資の調達が著しく困難な状況に陥りました。入院患者さんと泊り込みで勤務する職員に、食事を提供するための食材等の確保が困難な状況になりましたが、地域の皆さまから食料品、飲料水、日用雑貨用品等を提供していただき、何とか難局を乗り越えることができました。

今回、ご支援いただいた7個人、17団体に対して、感謝の念を込めまして感謝状を贈呈いたしました。このようなご支援をいただいたことを糧に、今後とも地域医療の充実を目指して努力して参りたいと考えております。本当にありがとうございました。



平成23年度 第1回 地域医療懇談会開催



東日本大震災の当院の状況と 今後の運営方針にご理解を！



6月29日(水)15時から、当院の大会議室において、今年度第1回目の千厩病院地域医療懇談会を開催しました。当日は、地域住民の方々や一関市役所各支所等の関係職員など約35名の参加をいただきました。

最初に、当院から「事業運営の概況」(小松事務局長)、「看護科の紹介」(小松総看護師長)、「千厩病院の現状と今後の運営方向について」(伊藤院長)と題して、当院の事業運営について説明しました。続いて、今回ご出席いただいた勝部一関市長から、市職員の被災地支援や一関市の保健福祉行政の展望等のお話をいただきました。その後、懇談と意見交換を行い、参加者から貴重なご意見をいただくことができましたので、今後の病院運営に反映していきます。



地域医療懇談会は、来年の2月頃にも開催する予定ですので、その時は是非ご参加ください。

自治医科大学附属さいたま医療センターからの医師派遣について

東日本大震災後の3月20日から6月30日まで、医療局医師支援推進室を通じて、自治医科大学附属さいたま医療センターから、1~2週間交代で応援医師を派遣していただき、主に総合診療科で診療をしていただきました。当院から、7月以降についても医師派遣の継続をお願いしたところ、12月末まで派遣を継続していただけることになりました。

また、当院が毎年、正面玄関内に飾っている七夕かざりにも、さいたま医療センターの職員の方々が作成して下さった短冊がたくさんかけられました。復興への願いを込めて書いて下さった温かいメッセージに胸が熱くなりました。ありがとうございました。



千厩病院祈りのコンサートBy 宮川久美

6月30日(木)15時から、世界的に活躍するピアニスト・宮川久美さんが、復興支援の一助になればと、当院でピアノコンサートを開催してくださいました。

宮川さんのお母さんが、藤沢町のご出身とのことで、宮川さん自身が岩手に愛着を感じていることなどから、今回のコンサートが実現しました。

ショパンの「子犬のワルツ」「革命」、日本の曲から「ふるさと」「さくらさくら」「浜辺の歌」などを演奏してくださいました。

患者さんや職員は、復興への願いがこもったその美しい音色に引き込まれ、様々な想いを胸にいただきながら聞き入っていました。今後のご活躍を期待しています。

ありがとうございました。



地域のみなさんとの交流

理容ボランティア

そしていただいたご支援を紹介します

4月25日(月)、千厩地区理容組合の方々・16人が来院され、被災地等から入院している患者さん27人の散髪をしていただきました。散髪を終えた患者さんから、「さっぱりして良かった。」などの声が聞かれ、笑顔で病室に戻っていきました。8月1日(月)にも2度目の理容ボランティアをしていただきました。理容組合の方々には心から感謝申し上げます。



ふれあい看護体験

『看護の日』である5月12日(木)に、ふれあい看護体験を企画し、一関市内の8名の高校生が入院患者さんとのふれあい交流を体験しました。患者さんの手浴などを行い、患者さんから笑顔で「ありがとう。」と感謝されると、緊張した面持ちが笑顔に変わり、病室内は和やかな空気に包まれました。参加者から、「手を洗っている時に、患者さんの手のぬくもりから、命の尊さを感じました。」との感想がありました。将来は、是非千厩病院でいっしょに働きましょう。



第4回 千鷲賞授賞式

東日本大震災の影響で、表彰式が延期になっていた平成22年度千鷲賞表彰式を、5月25日(水)に行いました。今回は、清田十三区在住の千田信子さん、千田てい子さん、三浦岩子さんの三氏と、花めぐり勝手に応援する会(会長:菅原良一郎氏)の二団体を表彰いたしました。両団体とも、毎年、当院の花壇に色とりどりの季節の花を植えていただき、患者さんや来院者に癒しと安らぎを提供しています。大変ありがとうございました。



小羊幼稚園慰問

6月9日(木)、千厩小羊幼稚園の園児11名が、『花の日慰問』のため当院に来院して、お遊戯と歌を披露してくださいました。会場内には、笑顔で園児を愛おしく見守る患者さんがたくさん見受けられました。お遊戯を終えた園児は、持ち寄った花束を会場内の患者さん方に手渡し、握手をして病院を後にしました。園児の皆さん、ありがとう!



サン農園から苗が届く

7月6日(木)に、盛岡市で花・野菜苗の産直販売をしている有限会社サン農園さんから、花の苗を約750本寄贈していただきました。被災地に色が無くなったと聞き、陸前高田市などに花の苗を寄贈する活動を行っているとのことで、その途中に当院にも寄ってくださいました。サン農園の皆さん、本当にありがとうございました。



皆さんに感謝!

リハビリテーション科紹介

リハビリテーション科は今年度から大東病院のスタッフも加わり、理学療法士4名、作業療法士3名、言語聴覚士1名の計8名となりました。

今回はそれぞれの職業について簡単に説明させていただきます。

理学療法士は、身体機能や、ベッド上の起居動作・立つ・歩くなど日常生活の基本となる動作の改善を図ります。作業療法士は、作業活動を通じて心身機能の回復を図り、日常生活動作の自立を目指します。言語聴覚士は、言語障害や、うまく噛めない・うまく飲み込めないといった嚥下障害に対し、言語治療を行います。

リハビリテーションは、障害を治すだけでなく、障害を持ったままでも、よりよい人生を送ることができるよう、支援を行っていくことが重要であると考えられています。単なる機能回復だけでなく、患者様にとって「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」を尊重していきながら、日々治療を行っています。 (理学療法士 渡邊 綾香)

よろしくお願いします



MRIがリニューアル!!

放射線技術科から

- ・MRI(磁気共鳴画像)は、強い磁石と電波を使って体の内部の状態を検査する方法です。
- ・患者さんの体を切ったりすることなく、いろいろな角度から体の断面の写真を撮影することができます。
- ・昨年10月にMRIが更新され、以前の装置に比べ短時間で、より高精細な画像が得られるようになりました。



脳・血管



胆のう・胆道



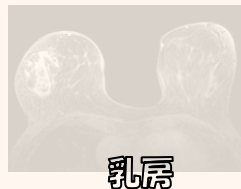
肩関節



前立腺



子宮・卵巣



乳房



肩関節



脊椎

- ・体のどの部位でも寝ているだけで検査ができます。
- ・検査の所要時間は20~30分です。
(造影検査の場合はその倍の時間が必要となります。)
- ・疑問点などがありましたらお気軽に担当医師、または放射線技師におたずねください。



がんばっぺ東北千厩から元気発信~ 今年も千厩夏まつりに参加



7月30日(土)、当院も千厩夏まつりに参加して、千厩おどりと山車を披露しました。

今年の山車は、『ドラミちゃん』を制作しましたので、ドラえもん に扮してパレードに参加した女性職員2名と、コスプレを身に着け美しく変身したと思っている男性職員3名が、沿道の皆さんと積極的にふれあい交流をしました。(病院に親近感をもってくれたかな?) また、千厩おどりはしっかりと練習を行って参加したので、本番の舞はなかなか美しかったと思っています。(決して自画自賛ではないと思うのですが...) 千厩病院も今年のテーマ「がんばっぺ東北千厩から元気発信」に貢献できましたよね。

なお、多くの皆さまから多大なるご祝儀、ご支援等をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。



－ 出前講演を実施しています－

出前講演は、地域の皆様方との関わりを大切にするために、平成19年8月より実施している事業です。

今年度第1回は、6月23日(木)にJAいわい東女性部千厩中央支部の方々を対象として「上手な病院のかかり方」及び「イキイキ働くための体づくり」と題し、看護師及び理学療法士が講演を行いました。「上手な病院のかかり方」では、受診する際の10か条など具体的な説明があり、「イキイキ働くための体づくり」では、自宅で簡単に出来るストレッチ方法等についての実技を交えた講演を行いました。



また第2回は、7月22日(金)に岩手県職員退職者東磐井支部の方々を対象として「メタボリックにならないために」と題し看護師が、講演を行いました。日常生活のポイント等について、とても分かりやすい内容でした。どちらも質問等活発な発言があり、好評をいただいているところです。

今後も当院の「出前講演」を是非ご依頼くださいますよう、よろしくお願いいたします。

出前講演メニュー

番号	演 題 名	備 考
1	メタボにならないために ～日常生活で大切なこと～ 《内容》生活習慣病予防、運動療法、日常生活の注意点	看護
2	気持ち良く気兼ねのない排泄介護	看護
3	楽しく食べて笑顔で元気に！！ 《内容》授食・嚥下について、体位・食事形状、口腔ケア方法	看護
4	安心して自宅に帰れるようにするために 《内容》高齢化率と現状、退院支援について (社会資源の活用・制度・相談機能等)、地域の看護師との連携	看護
5	上手な病院のかかりかた 《内容》救急受診について、小児の救急対応について、 当院の救急の状況	看護
6	院外処方について ～なぜ病院で薬をもらえないの？～	薬剤
7	正しいくすりの使い方	薬剤
8	ジェネリック医薬品(後発医薬品)について	薬剤
9	マンモグラフィ(乳房撮影)について	放射線
10	検査って何だろう？	検査
11	介護予防と運動療法	リハビリ
12	イキイキ働くための体づくり	リハビリ
13	高齢者の食事	栄養
14	嚥下食について	栄養
15	緩和ケアについて	外科
16	がん一般について	外科
17	胃がんについて	外科
18	大腸がんについて	外科
19	乳がんについて	外科
20	医療保険の仕組みと医療費負担について	事務
21	東日本大震災における当院の取り組みについて	事務



《お問合せ先》

「千厩病院ホームページ」でも確認できます。

講演メニューの中から選択し、趣旨、日時、人数等

が決まりましたら、千厩病院 0191-53-2101

(担当：医事経営課長 及川) まで



ボランティア室を新設 引渡し式を挙行

長年の懸案だったボランティア室の整備が完了し、藤野宣子会長始め会員6名の皆さんをお招きし、去る8月22日(月)の15時から同室で引渡し式を執り行いました。新たに整備したボランティア室は3月末で閉店となつて空室状態にあった理容室を改装したもので、これまでの1階女子休憩室での同居状態から完全独立という形になりました。

引渡し式では、伊藤院長から「もっと早くにこのような部屋を提供できればよかったが、やっと実現できた。これを機会に今後ともボランティア活動に協力願いたい。」との挨拶とともに藤野会長に部屋の鍵が手渡され、藤野会長からは「こんなに立派な部屋を準備してもらって大変有り難い、これからの活動の励みにしたい。」との謝辞と決意が述べられました。

福祉ボランティアの会の当院での活動は、平成12年9月からの開始以来今年で早12年目を迎え、この間日々の受付・自動入金機操作補助等の業務は基より、病棟ボランティア・患者ふれあい慰問の会・図書整備・草取りなどその内容は多岐に及び、当院の事業運営に多大な貢献をいただいております。このような活動の積み重ねがあつて、顕著なボランティア活動と認められる団体に贈ることを目的として平成19年度に当院で新設の、「千鷲賞」の栄えある第1号表彰を授賞されました。

会員の皆さんには健康管理にはくれぐれもご留意をいただきながら、今後とも当院の運営の一助としてのご協力を賜りますよう改めましてよろしくお願い致します。

(事務局長 小松 一幸)



場所は院内売店横にあります。

大好評！ 情報満載、千厩病院の今・・・をお届けします。お気軽にご利用ください。

千厩病院ホームページアドレス

<http://www.senmaya-hospital.jp>

